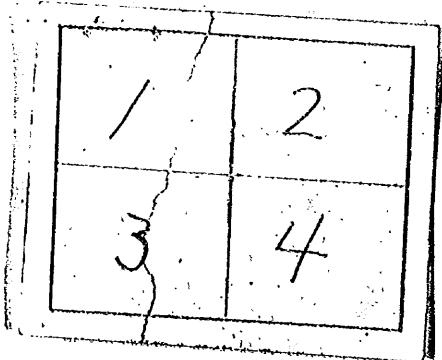


# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0507  
0508  
0509  
0510

3  
結  
世  
信

# 部隊

3

# 原

第  
七  
市  
目

# 部隊

3

世  
信

444

3  
木  
ノ

# 部隊

3

# 隊

七  
師  
團

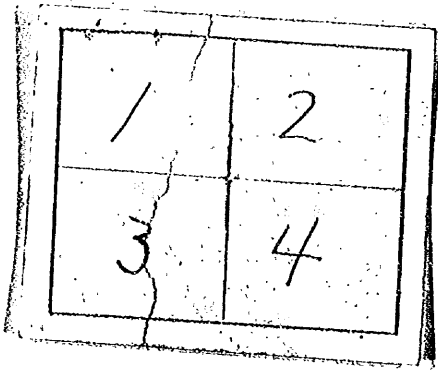
部隊

部

部

部

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0511  
0512

第四四章第一〇七師團 部隊名 第一〇七師團司令部(一)

通稱號 風滿二〇〇〇八七

郵便所名

0513  
0514

全般概要		轉入	轉出	員人編	581名	別隊		隊長名	戦時	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	滿洲残留	
一九、五、一九、編成下令 一九、六、二九、編成完結 於アルシャン 一九、七、初旬、五支隊にて陣地構築に従事 二〇、八、一〇、師團戰鬥指揮所を雄叫山に設く 二〇、八、一、一、新京轉進の軍令受領之を下迄 二〇、八、一、二、夜五支隊飛行場を築結、師團は三ヶ梯團に別れ、與安經新京に向ふ 二〇、八、一、三、白河縣西口附近にて戦況を有する敵と遭遇攻撃命令下迄 二〇、八、一、五、暴務隊を命ず、戦時停戦長官野少尉以下二名行方不明		一九、六、二二、師團司令部より 三、五、各部隊より 混成七部隊 三、七、各部隊より 第八團守備隊 三、一、各部隊より	一九、八、初旬、師團内の歩兵各部隊より 一、九、八、中旬、軍容の各部隊 二〇、二、二六、各部隊より 二、六、大隊(ハ、イ、エ)より	師團長 中將 安部 考一 (内は先代を不す)	參謀長 大佐 河瀬 繁太 參謀 少佐 溝井 溝 大尉 諏訪 誠 中尉 鈴木 正亮 中尉 川崎 小澤 中尉 氣象 鈴木 養一 少尉 兵要 本間 清介 少尉 勤員 齋藤 清吉 少尉 後方 渡邊 清吉	次級副官 大尉 根本 政治 專任副官 少尉 式藤 義一 中尉 西岡 義一	大佐 楠山英太郎 中尉 半澤 義次 少尉 上久保	約45	約30	右 同	右 同	五 又 溝	西 口 五 台	參謀長 西口に於て自決 西口轉進時渡邊少尉、川崎隊長他四名戰死	入「ソ」人員 隊別計	滿洲残留

ゴードンカ收容所  
 ホルドイ收容所  
 フーシニング收容所

部隊名 第一〇七師團司令部(一)

通稱號 風滿 二〇〇〇八七

郵便所名

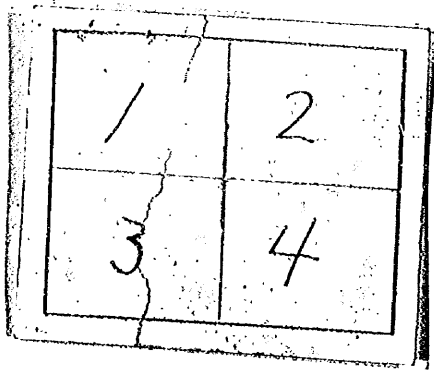
器 兵	部 官 副	部 謀 参	別 隊	隊 長 名	開 入 時 員	駐 屯 地	戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗	戦 後 の 人 員 変 動	作 業 大 隊 よ り 入 ソ 返 の 変 動	入 ソ 入 員 隊 別 計	満 洲 残 留	收 容 所 名	所 入 員 数	死 亡 者 数	満 洲 領 土 へ の 送 還 人 員 計	状 況 不 明 者 数			
大佐 楠山英太郎 中尉 半澤 義次 少尉 上久保	大尉 根本 政治 大尉 根本 政治 少尉 式藤 義一 中尉 西岡	参謀長 河瀬 繁太 大佐 河瀬 繁太 参謀 溝井 溝 少佐 溝井 溝 大尉 諏訪 中尉 鈴木 正亮 中尉 鈴木 正亮 中尉 川崎 中尉 小澤 中尉 小澤 少尉 鈴木 養一 少尉 鈴木 養一 少尉 本間 清介 少尉 本間 清介 少尉 齋藤 清吾 少尉 齋藤 清吾 少尉 渡邊 少尉 渡邊	隊長名 (内は先代を不) 中尉 安部 考一	約45	約30	右 同 右 同	五 又 溝 西 口 五 台	参謀長 西口に於て自決 西口轉進時渡邊少尉、川崎参謀長他四名戦死	作業大隊より入ソ返の變動	入ソ入員 隊別計	満洲残留	收容所名 ゴリカ收容所 ポルドイ收容所 フロンダ收容所	約40	約100	約100	約300	死亡者数	満洲領土へ送還人員計	状況不明者数







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



部隊名 第一〇七師團司令部 (二)

通稱 號

風滿 二〇〇八〇七

郵便所名

部	理	管	部	醫	獸	部	醫	軍	員人副總
									別 隊
									隊長 名
									( )内は先代を示す
									時員 戰 關入
									駐 屯 地
									平 時 戰 時
									戰鬥間の状況及損耗
									終戦後の人員變動
									作業大隊より
									入ッ」迄の變動
									入ッ」人員
									滿洲殘留
									收容所名
									收容所
									所入 死亡
									滿洲より
									歸還人員
									者 數
									狀況不明

中尉 中田 豊秋  
同 衛藤 一郎  
少尉 高野 一郎  
同 榎藤 正雄  
准尉 石川 正雄

獸少佐 仙石好生  
同大尉 平松勝人  
同准尉 渡邊五衛門

醫少佐 中村  
醫大尉 本吉

審判中尉以下管理係、職重五〇名行方不明  
戦死一〇三名  
高野少尉以下一二名行方不明

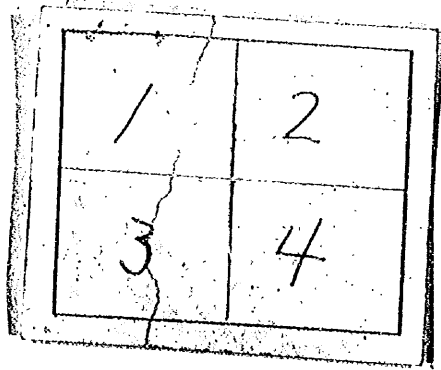
滿文五  
台什五・口 西





# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。



0519  
0520

第四軍第一〇七師團 部隊名 歩兵第九〇聯隊(一)

通稱號

満洲 二〇〇八一

郵便所名

0521  
0522

全般概要		轉入	轉出	員人編	除別	隊長名	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	隊別計	滿洲残留	收容	
<p>一、九、五、一六、編成下令 編成完了 於</p> <p>臨時警備隊に 本隊、二大隊阿爾山 一大隊イム 三式隊五支隊に駐屯</p> <p>一〇、八、九、開隊と同時に 第三中隊の一部を「イム セ」以北に後置し聯隊主力 (二大隊欠)は五支隊に後 退す、同日正午迄に敵は 列車に依り白旗を懸け 四日國境監視の小部隊に 送す。</p> <p>二〇、八、一一、二、先 遣せる第二大隊は阿爾山附近 で敵軍を有する敵と遭遇、 戦斗二分一程度の損害を生 じ四散す。</p> <p>二〇、八、一四、一五、 第一大隊主力は新奈向ひ轉 進中四口附近で敵戦車群と 交戦相當大なる損害を受け し散隊</p>		<p>自一九、一〇 一六 至二〇、二 三三 歩兵第一二二 聯隊補充隊 二〇七八名</p> <p>自一九、六、 二七 至二〇、二、 二四 歩兵第五七 聯隊より 一九四名</p> <p>自一九、六、 二〇、七、 歩兵第三八〇 聯隊 約一〇〇〇 名</p> <p>自二〇、七、 二〇、七、 進大隊約八〇 名</p> <p>自二〇、二、 二〇、二、 員として約二 〇〇名</p>	<p>自一九、一〇 一六 至二〇、二 三三 歩兵第一二二 聯隊補充隊 二〇七八名</p> <p>自一九、六、 二七 至二〇、二、 二四 歩兵第五七 聯隊より 一九四名</p> <p>自一九、六、 二〇、七、 歩兵第三八〇 聯隊 約一〇〇〇 名</p> <p>自二〇、七、 二〇、七、 進大隊約八〇 名</p> <p>自二〇、二、 二〇、二、 員として約二 〇〇名</p>	3654名	<p>第一聯隊 本隊 少佐 荒井 初雄</p> <p>第二聯隊 中隊 中尉 尾崎</p> <p>第三聯隊 中隊 中尉 長谷部 文明</p>	<p>阿爾山</p> <p>西口五台</p> <p>同右</p> <p>同右</p>	<p>(大佐 松村重夫) 少佐 早田 義雄 中尉 大藤</p>	<p>阿爾山</p> <p>西口五台</p> <p>同右</p> <p>同右</p>	<p>戦闘間の状況及損耗</p> <p>終戦後の人員變動</p> <p>作業大隊より入ソ返の變動</p>	<p>満洲 二〇〇八一</p>	<p>作業大隊より入ソ返の變動</p>	<p>隊別計</p>	<p>滿洲残留</p>	<p>收容</p>

隊名 歩兵第九〇聯隊 (一)

通稱號 風滿二〇〇八一

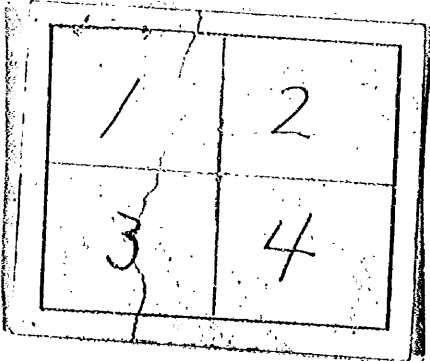
郵便所名

二第	隊中一第	部本隊大一第	李行隊聯	部一本隊聯	別隊
中尉 長谷部文明	中尉 尾崎	少佐 荒井 初雄			隊長名 (内は先代を不示) (大佐 松村重夫) 少佐 早田 義雄 中尉 大塚
セルイ	セルイ ヤガダンハ部一 山勇武 山シロフ	セルイ	右 同	山爾阿	戰鬥間の状況及損耗
五 口西	山勇武 山シロフ ヤガダンハ 台什五 口西	右 同	右 同	台什五 口西	終戦後の人員變動
	ハンダガキ、武勇山、フニン山の國境警備 部隊全数(八、五)				作業大隊より入ソ人員
					隊別計
					満洲残留
バルゴン	ジープヘーゲン	ビラ		プログレス	收容所名
	1499	力主隊大一第下以佐少井荒			所人員
	786				死亡
					満洲ソ領 より計
					者数
					状況不明





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0523  
0524

第四四軍第一〇七師團部隊名

歩兵第九〇聯隊(二)

通稱號

満洲 二〇〇八一

郵便所名

0525  
0526

全般概要

轉入  
轉出

員人調編

別隊

隊長名  
(内は先代を示す)

戦時  
平時  
戦時  
戦時

駐屯地

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員  
除別計

滿洲残留

取

師團の要定(要定)により「ハ  
マイ」に於て「ソ」に於て  
途中五ヶ所を以て「約」一  
「約」二と通過、師團の左  
第一線となり戦時す、損耗  
程度不明  
(ハ、二四、二六)

二〇、八、二九、「ソ」に於て  
「ソ」に於て武装解除  
第三大隊は五又砲相模原に  
て砲隊中隊となり  
師團要定(要定)の爲列車にて  
先發隊に同歩中、ハ、  
一、二、大石を以てて敵軍  
の攻撃に遭ひ列車機銃隊  
被弾となり四散す  
「ソ」に於て  
者約二〇名

二〇、八、二九、師團主力  
は「ソ」に於て武装解除  
爾後「ソ」に於て  
「ソ」小民に收容せらる  
二〇、一〇、一六、第一七  
作業大隊編成

二〇、一〇、二四、「ソ」に  
於て「ソ」に於て

第四	部本隊大二第	李行隊大	隊小砲兵歩	隊中銃關機	別隊	隊長名 (内は先代を示す)	戦時 平時 戦時 戦時	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 除別計	滿洲残留
中尉 重光 孫一	少佐 田中 正義		中村		中尉 井手 吉彦		セルイ	西口五什台					
右同	阿爾山	右同	右同										
右同	安興「ソ」	右同	右同										

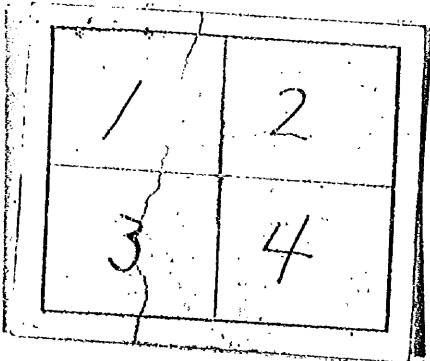








# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0527  
0528  
0529  
0530

所 屬  
第四四軍第一〇七師團 部隊名  
步兵第九〇聯隊(三)

通稱號

風滿  
二〇〇八  
〇〇八一

郵便所名

全般概要					轉入 轉出		員入制編	
本隊大三第					率行隊大		隊小砲兵步	
大尉 田端 重次 副官 古川 龍雄					中尉 飯塚 真治		隊中銃關機	
溝又五 (山模相)					右同		右同	
案石大					右同		右同	
戰鬥間の狀況及損耗					戰鬥間の狀況及損耗		戰鬥間の狀況及損耗	
終戦後の人員變動					終戦後の人員變動		終戦後の人員變動	
作業大隊より入ソ返の變動					作業大隊より入ソ返の變動		作業大隊より入ソ返の變動	
隊別計					隊別計		隊別計	
滿洲残留					滿洲残留		滿洲残留	
收					收		收	

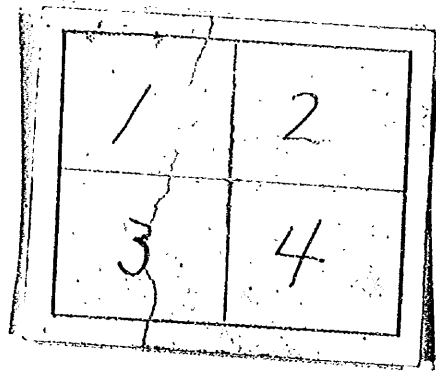


隊 中 七 第	部 本 隊 大 三 第	率 行 隊 大	隊 小 砲 兵 歩	隊 中 銃 騎 後	隊 中
少尉 吉田 明男	大尉 田端 重次 副官 ① 中尉 古川 龍雄			中尉 齋藤 真澄	
右 同	溝 又 五 (山模相)	右 同	右 同	右 同	
台 什 五 口 西	寨 石 大	右 同	右 同	右 同	【アネン】
大隊行李と共に徒歩行軍、西口に到り第一大隊長の指揮下に入り同一行軍					



# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。





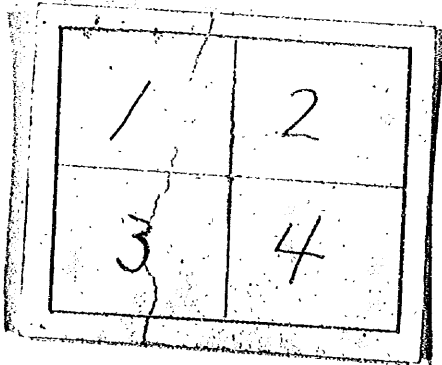
聯	大 隊 行 李	步 兵 砲 小 隊	機 關 銃 中 隊	第 九 中 隊	第 八 中 隊	員 入 調 編	
						別 隊	隊 長 名 (内は先代を示す)
見士 田邊			中尉 古川 龍男	少尉 先崎 哲雄	中尉 前側武三郎		
爾阿	右 同	右 同	右 同	右 同	濤又五 (山樸相)	開人 駐屯地	時員
西 部一	右 同	右 同	右 同	右 同	塚石大	駐屯地	時員
<small>主力部隊本部と同行助、一隊第二大隊と共に 「興安」トシキム「附近」にて</small>						戦闘間の状況及損耗 <small>列車通過後先崎少尉以下二〇名戦車に 攻す</small>	
						終戦後の人員變動 風満二〇〇八一	
						作業大隊より 入ソシ迄の變動	
						入ソシ人員 隊別計	
						滿洲殘留	
						收容所 收容所名	
						所入 死亡	
						歸還人員 滿洲ソ領 計	
						者 数 状況不明	

隊名 步兵第九〇聯隊(四) 通稱號 風満二〇〇八一 郵便所名

隊 信 通	隊 中 砲 隊 聯	李 行 隊 大	隊 小 砲 兵 步	隊 中 銃 砲 機	隊 中 九 第	隊 中 八 第
長尾 勝	見士 田邊			中尉 古川 龍男	少尉 先崎 哲雄	中尉 三浦 三郎
右 同	山爾阿	右 同	右 同	右 同	右 同	中尉 三浦 三郎 (二機銃)
台什五 口 西	台什五 口 西 ルネット安興部一	右 同	右 同	右 同	右 同	中尉 三浦 三郎
聯隊本部と同行動	主力聯隊本部と同行動、一連第二大隊と共に興安「トネル」附近にて戦斗				列卒砲隊後先等少尉以下二〇名	



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 大 一 第	李 行 隊 聯	部 本 隊 聯	別 隊
朝田 淳郎 吉米地 謙太郎	少尉 伊藤 俊夫	大尉 猪俣 三郎 副官 見士 常盤 一雄		大佐 米本 勝男 副官 中尉 竹村 亨 警大尉 加藤 俊治 主大尉 長岡 榮吉 中尉 昆野	隊長 名 ( )内は先代を示す
名	約80名				關人 職員
右 同	右 同	溝又五 岳里三	右 同	溝又五	駐 屯 地 平時
右 同	右 同	右 同	右 同	西 口 台 五	戰 斗 間 の 狀 況 及 損 耗
西口夜襲 六名 五什台 五名	西口夜襲 戦死九名 五什台 戦死三名	西口夜襲 戦死八名 大隊内轉部投客大 五什台師團の右第一線 戦死四名			終戦後の人員變動
					入「ソ」迄の變動
					隊別 入「ソ」人員 計
					滿洲殘留
		カダラ地区 ハラグン	ソクトイ	ハタブラク收容所	收 容 所 名
					所 入 死 亡
					滿洲「ソ」領 より
					歸還人員 計
					狀況不明 者 數

隊名 歩兵第一七七聯隊(一)

通稱號

風滿 二〇〇〇一

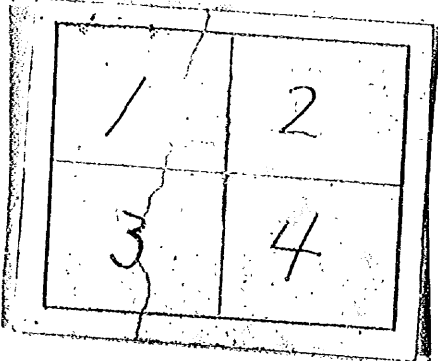
郵便所名







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0539  
0540

第四四軍第一〇七師團 部隊名 歩兵第一七七聯隊(二)

通稱號

満洲 風二〇〇〇一

郵便所名

0541  
0542

全般概要

歩兵第一七七聯隊は、  
第一二二名、公使館に侵入し、  
二〇、八、一三、聯隊主力は  
は西口附近で敵と遭遇、一  
三日夜夜襲を行(第一大隊のみ)  
撃死約四〇名、行方不明約一〇名

二〇、八、一三、西口附近  
戦場跡に「マニヤ」の  
向ひ撤退す、撤退時自決一  
〇名  
行方不明約三〇名

二〇、八、一三、西口附近  
五什合にて敵約一ヶ隊と  
遭遇、二四日午後より師團  
右第一線となり攻撃、八、  
二五夜中央突破に成功  
此の間第一大隊  
撃死 約三〇  
行方不明約三〇  
第二大隊  
撃死 約二〇  
行方不明約一〇

二〇、八、二八、主力「イ  
ントール」に集結

轉入 轉出  
十九年以降 十九年以降

員入調編

別 隊

隊長名  
(内は先代を示す)

山田 進

見士 小林 光雄

大尉 野澤 辰雄  
副官 田村 堅吉

中尉 鈴木 武男

個人 戦員

駐屯地  
平時 戦時

溝又五 岳里三  
口西 台什五

右同 右同

右同 右同

溝又五 山出ノ日  
倫 察

右同 口西 台什五

戦闘間の状況及損耗

西口戦死 五名  
五什合戦死 二名

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入「ツ」迄の變動

入「ツ」人員  
隊別 計

満洲残留

收容

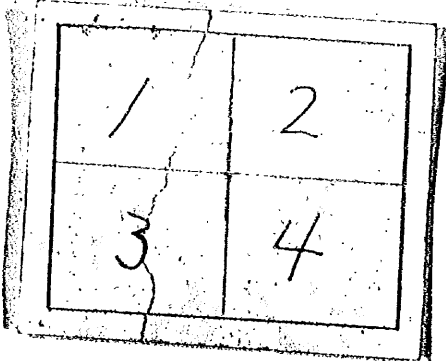
第五部		第二大队本部		大隊行		步兵砲小队		機銃中队		隊別	隊名
中尉	鈴木、武男	大尉	野澤、辰雄			見土	小林、光雄			隊長名	山田、進
		副官	田村、堅吉							( )内は先代を不示す	
右同		溝又五	山出ノ日	右同		右同		溝又五	岳里三	駐屯地	
口西	台什五	倫	索	右同		右同		口西	台什五	戦時	
	定機中隊として第一大隊と行動を共にす							西口戦死 五名 五什台戦死 二名		戦闘間の状況及損耗	
										終戦後の人員變動	満洲 二〇〇〇〇
										作業大隊より入ッ込の變動	郵便所名
										隊別	入ッ込人員
										計	満洲残留
										收容所名	收容所
										所入	死亡
										満洲より	歸還人員
										計	者
										数	状況不明

隊名 歩兵第一七七聯隊(二) 通稱 郵便所名





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	







二〇、八、二六、「イン  
 」「カデグノト」  
 二〇、一〇、一三、列車に  
 依り海州里に入リ  
 「カデグノト」  
 「ハネブラク」  
 二〇、一〇、一〇、中野、作樂會  
 二二、一、一五、大野、作樂會

隊 中 九 第	部 本 隊 大 三 第	率 行 隊 大	隊 小 砲 兵 歩	隊 中 銃 關 機	隊 中 七 第
中尉 直井 定敏	少佐 佐藤 義吉 副官 武藤 正夫		飯尾	照井	中尉 藤田 義雄
右 同	溝 又 五 ンゴモト	右 同	右 同	右 同	溝 又 五 ンゴモト
右 同	口 西 台 什 五	右 同	右 同	右 同	倉 察
西口より五什台の間、落伍者約一〇名 五什台、戦死一〇名					

